小千谷市に救援を目的に行ってきた際の報告です。 従って、写真撮影位置等は、多少の誤差があるかも知れません。あくまでも今後の調査の参考とし てご利用下さい

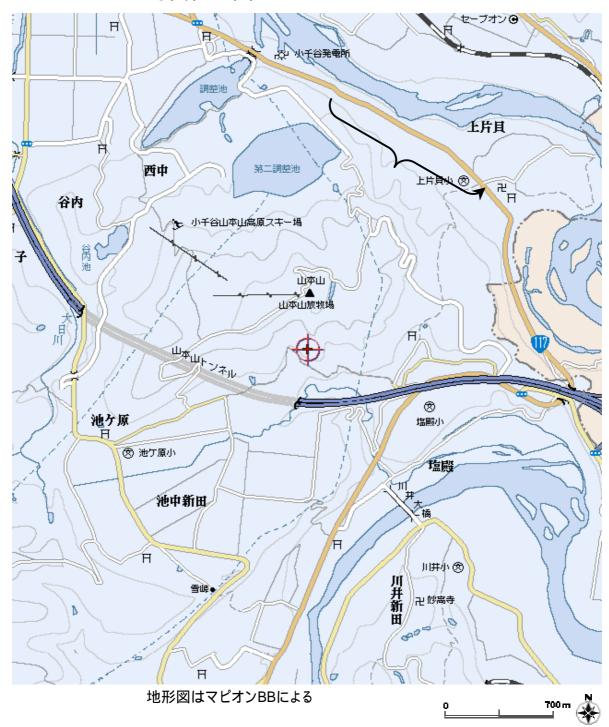


2004年10月24(日)車輌走行ルート(規制前)

この図は、発生翌日の早朝(10/24 6:00)に自家用車で走行できたルートです。 現在は規制が強化されている可能性があります

長野から小千谷へのアクセスを試みましたが、国道117号線は信濃川を渡る地点で、通行止めです

写真位置図





-1 国道117号線細島の崩壊現場。朝日新聞10/25朝刊1面の写真と同一。自家用車が1台横転している。



-3 崩壊部の末端。 流動化している。



-2 同左。谷を埋めた盛土の崩壊と推定される。



-4 同じ崩壊を、反対側から見る。右側は、緩い斜面となっているが、崖錐堆積物か?



-1 の崩壊の約200m北東側の崩壊。 谷を埋めた高盛土の崩壊と推定される。



- 3 同じ崩壊を反対側から望む



-2 崩壊の末端部。流動化している。



-1 国道117号線の崩壊。 プロック積みの小屋が、そのまま滑落している



急傾斜面の頭部の崩壊。 魚沼層の砂岩泥岩互層を推定される。



-2 同、崩壊頭部。 地山か、盛土かは不明。



段丘崖の崩壊



崩壊末端部では、湧水が見られた。 かなり、水位が高くなっている印象を受けた。



丘陵斜面の崩壊



丘陵斜面の崩壊



-1 国道117号線の崩壊 車が崩壊プロックの中にとり残されている



-2 プロック積み擁壁の崩壊



集落内の道路の陥没。 谷を埋めた盛土で発生していると思われる。



小千谷市上片貝家屋の被害状況



-1 家屋の倒壊。これ以外の倒壊は、この地域では見られなかった(古い小屋等は除く)



-2 家屋の被害状況



-1 国道117号線斜面からの落石と盛土部の陥没。 陥没しているカ所は、盛土。



国道117号線盛土部の陥没



-2 同じ斜面を、北西側から望む。



国道117号線切土斜面の崩壊



小千谷市栄町地区の墓地の状況



国道117号線の橋梁取り付け部の陥没。 盛土部が陥没している。